

あくろいし 市議会だより



第11号
平成27年12月1日発行



市褒賞者に齋藤直文氏

11月3日にグリーンパレス松安閣で行われた「平成27年度市表彰式」で、市政の進展に貢献した榮譽をたたえられ市褒賞者に選ばれた、齋藤直文元市議会議長が表彰されました。

齋藤直文氏は平成7年から23年までの16年にわたって市議会議員を務め、15年から23年までは市議会議長として議会運営等に卓越した手腕を発揮しました。



表彰が平成24年度に功労者と褒賞者に区分されてから、褒賞者は26年度まで該当者がなく、齋藤直文氏が初めての褒賞者となります。

目次

定例会の概要……………2

議案一覧……………3

定例会一般質問など…4～6

第7回「議会報告会」など…7

常任委員会活動報告など…8

平成27年第3回定例会の概要

平成27年第3回定例会は9月3日から18日までの16日間にわたって開かれ、市長提出の4報告・33議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり報告・認定・可決いたしました。

また、9月3日に全議員で構成される決算特別委員会が設置され、委員長に大溝雅昭委員、副委員長に工藤和行委員を選任し、平成26年度一般会計、各特別会計、各財産区会計、各事業会計決算の審査を行いました。

各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は次ページをご覧ください。

平成26年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定 討論

反対討論

社会保障と税の一体改革に基づく消費税増税、そして本格的な社会保障の予算削減が始まった。一方では企業への減税などにより国民・住民に対する負担が増えている。そういった状況で、黒石の予算も編成され、決算となった。

反対の理由として、マイナンバー制度に係る予算が計上されている点、子ども・子育て支援新制度が導入された点、生活保護が引き下げられた点、ゴミ袋の値段が引き下げられていない点、子供の医療費無料化年齢が引き上げられていない点、保育料が是正されていない点が挙げられる。

以上のことから決算認定に反対する。

賛成討論

日本全体の問題である人口減少社会をどう乗り切っていくのか議論を重ねた上で、国民の総意ではないかもしれないが社会保障と税の一体改革、消費税10%を国は決定してきた。その流れの中で、アベノミクス、就職率といった面で成果をあげている。

黒石市は依存財源で財政運営を行っており、そういった大変な状況の中にあって、実質収支は3億2,821万3,000円の黒字、財政調整基金は減少したものの約7,400万円にとどめることができている。これは節度のある財政執行の結果である。

以上のことから決算認定に賛成する。

この他にも「平成26年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」、「平成26年度黒石市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」、「平成26年度黒石市水道事業会計決算認定について」及び「黒石市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について」においても、反対・賛成討論がありました。

第3回定例会の報告と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
報告第25号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	報 告
報告第26号	平成26年度における黒石市温泉供給事業特別会計経営健全化計画の実施状況について	○	○	○	○	○	報 告
報告第27号	黒石市財政の平成26年度決算に基づく健全化判断比率について	○	○	○	○	○	報 告
報告第28号	黒石市公営企業の平成26年度決算に基づく資金不足比率について	○	○	○	○	○	報 告



第3回定例会の議決結果と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	議決結果
議案第69号	平成26年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	○	○	認 定 (起立多数)
議案第70号	平成26年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	○	○	認 定 (起立多数)
議案第71号	平成26年度黒石市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	○	○	認 定 (起立多数)
議案第72号	平成26年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	認 定
議案第73号	平成26年度黒石市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	○	○	認 定 (起立多数)
議案第74号 ↳ 議案第78号	平成26年度黒石市観光施設事業特別会計、簡易水道特別会計、温泉供給事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、土地取得特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	認 定
議案第79号 ↳ 議案第84号	平成26年度黒石市中川財産区会計、上十川財産区会計、追子野木財産区会計、温湯財産区会計、袋財産区会計、南中野財産区会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	認 定
議案第85号	平成26年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算認定について		○	○	○	○	○	認 定
議案第86号	平成26年度黒石市水道事業会計決算認定について		○	○	●	○	○	認 定 (起立多数)
議案第87号	平成26年度黒石市下水道事業会計決算認定について		○	○	○	○	○	認 定
議案第88号	黒石市手数料条例の一部を改正する条例制定について		○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第89号	黒石市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について		○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第90号	津軽広域連合規約の一部変更について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第91号	弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について		○	○	○	○	○	原案可決
議案第92号	平成27年度黒石市一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第93号	平成27年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第94号	平成27年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第95号	平成27年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第96号	平成27年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第97号	平成27年度黒石市簡易水道特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第98号	平成27年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第99号	平成27年度黒石市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第100号	平成27年度黒石市水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	原案可決
議案第101号	平成27年度黒石市下水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	原案可決



第3回定例会一般質問

一般質問は、9月10・11日の2日間行われ、10人の議員が市の諸問題についての質問をしました。

問 6次産業を推進していくため、各地区で勉強会等を開催してはどうか。

答 昨年度より6次産業化と農商工連携を推進するため、食産業促進勉強会を年2回開催しています。それ以外に、各地区において開催している人・農地プラン座談会の際に

問 青森県産業技術センターや津軽みらい農業協同組合、食品事業者などを構成員とした6次産業化推進研究会を立ち上げ、やる気のある農林業者や、女性起業家が活躍できる環境づくりに取り組んでいきます。また、地元農林産物を活用した差別化が図られる付加価値の高い新商品の開発や、販路拡大のため、研修会等の開催により支援体制の確立に努めます。

問 農家所得の向上を考えると、6次産業の開発は必要不可欠と感じている。そこで、市は農家の手助けのために、どのような進め方をしようとしているのか。



自民・公明クラブ
今 大介 議員
(一括方式)



旧大黒デパート

問 旧大黒デパート建物に対する今後の市の考え、対応は。空き家、空き店舗等は所有者等の責任により適正な管理をすることが原則であると考えています。建物の所有者等には建物の適正管理を求める文書を送付しています。今後はオブザーバーとして参加している商工会議所の中心市街地活性化特別委員会において、解決策等について検討していきます。

問 小・中学校におけるいじめ問題の現状把握と対応は。すべての学校でいじめ防止基本方針を定め、いじめ未然防止等対策に取り組んでいきます。児童生徒の人間関係の変化や生活実態の把握に努め迅速な対応を図っており、学校ではアンケート調査、教育相談、保護者面談を実施しています。また、平成27年度中に黒石市いじめ防止基本方針を定め、いじめ根絶に向け学校や関係機関と連携し取り組んでいきたいと思えます。



新政会
三上 廣大 議員
(二問一答方式)

問 「黒石米」復活への試みについて。



自民・公明クラブ
中田 博文 議員
(二問一答方式)

問 健康都市宣言について、その後の動向は。

答 かつて良質米として有名な「黒石米」を復活させることにより、市民に元気と活力を与える切り札の1つにしたいと考えています。寿司米に適しているといわれるムツシキの栽培に取り組むなど、「黒石米」のブランド確立を目指しています。

問 黒石市地酒による乾杯を推奨する条例制定後の浸透について。

答 市内各種団体の懇親会において、地酒で乾杯する姿が見受けられるようになり、条例も少しずつ浸透してきていると実感しています。

問 地域の健康づくりのために、保健協力員の組織化に取り組む、今年5月に黒石市保健協力員会が立ち上がり、市民を対象とした運動教室を開催するなど事業を開始しています。また、市民の健康づくり促進と健康づくりに関する意識を広く普及することを目的に、黒石市健康マイレージ事業等を行っています。

問 黒石市地酒による乾杯を推奨する条例制定後の浸透について。



自民・公明クラブ
工藤 和行 議員
(二問一答方式)

問 当市の財政、平成26年度決算を踏まえた今後の展望について。平成27年度の全会計健全化はどう見込んでいるか。

答 財政調整基金は平成26年度末で5億2727万円、平成25年度末から7407万円の減となりました。実質公債

問 当市の財政、平成26年度決算を踏まえた今後の展望について。平成27年度の全会計健全化はどう見込んでいるか。

問 財政調整基金は平成26年度末で5億2727万円、平成25年度末から7407万円の減となりました。実質公債

問 財政調整基金は平成26年度末で5億2727万円、平成25年度末から7407万円の減となりました。実質公債



地方版総合戦略について



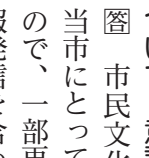
自民・公明クラブ
工藤 俊広 議員
(二問一答方式)

費比率は22・4割と高止まりで、早期に18割未満にする必要があります。また、普通交付税が大幅に減少し、経常収支比率が100・8割となり財政の硬直化が進んでいます。全会計の赤字解消は病院を除いて目途がつかしました。病院は従来の計画以上の資金不足の発生が避けられず、経営改善に取り組んでいます。

○ 平成28年度以降に想定される大型事業に学校の適正配置、給食、市役所庁舎、市民文化会館などが考えられるが財政的見地から実現性は。

○ 財政運営計画では平成31年度までに実質公債費比率を18割未満にする目標ですが、守られない場合は普通建設事業の起債ができなくなることも考えられるため、実施年度規模の決定は慎重に検討します。さらにランニングコストや老朽化した既存施設への対応など考慮すべき要素も多く、現段階で明言はできません。

策定状況と今後のタイムスケジュールは。



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(二問一答方式)

○ これまでの有識者の皆さんに加え金融関係者、経営者、マスコミの皆さんなど、活発な意見交換を進めてきたところですが、今後、議員全員協議会を経て更なる検討を重ねパブリックコメントを実施した上で平成27年度中に決定したいと考えています。

○ クラウドファンディング活用について、調査研究としてはどうか。

○ 先進的な取り組みであり、自主財源に乏しい当市としては、新たな資金調達法として先進事例などを参考に調査研究をしてみたいと思います。

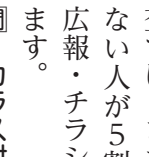
○ 18歳選挙権について、当市の取り組みは。

○ 県及び県内10市の選挙管理委員会と情報共有しながら高校や小・中学校への選挙啓発のあり方などを検討していきます。

○ 市民文化会館一部再開について、意識調査としては。

○ 市民文化会館の再開は、当市にとっての重要課題ですので、一部再開に向けての情報発信を含め、市のイベント等での意識調査実施を検討していきます。

青少年の深夜外出の制限の法的規制と、対策、取り組みは。風営法改正の影響は。



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(二問一答方式)

○ 青少年の深夜外出の制限の法的規制と、対策、取り組みは。風営法改正の影響は。

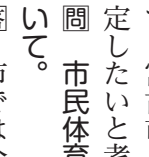
○ 青少年の深夜の外出は青森県青少年健全育成条例第24条などで規制されており、市青少年相談センターの指導員が巡回指導を行っています。風営法改正により要件が緩和される可能性があり、危惧しています。

○ 10月から番号通知が開始されるマイナンバー制度導入のメリットと市民の理解は。

○ 行政にとってのメリットは税の負担を不当に免れることや年金等の不正受給を防止できることです。市民にとっては添付書類が省略されるなど手続きが簡素化され、利便性が向上します。内閣府の調査では、まだ制度内容を知らない人が5割以上いるので、広報・チラシ等で周知に努めます。

○ カラス対策の現状は。個体数の減少の取り組みは。

毎年9月2日に市内5地点で調査しており、平成25年度1200羽、26年度1241羽、27年度1046羽と横ばいとなっています。箱わなの設置やおオカミの糞の成分を利用した効果的な対策を検討しています。



自民・公明クラブ
大久保朝泰 議員
(二問一答方式)

○ バイオコークス産業化促進事業の今後の取り組みは。

○ バイオコークスの工場稼働時期については、平成28年度末から平成29年度を目指しており、当初の雇用数は約15人、生産量は1日5トを計画しています。

○ 黒石市・宮古市姉妹都市締結50周年に向けた取り組みは。

○ 姉妹都市を締結して半世紀という節目の年である点を踏まえ、総合的に判断した上で、宮古市と協議しながら決定したいと考えています。

○ 市民体育大会の開催について。

○ 市では今年2月「健康都市宣言」をしました。その中



ムツニシキ収穫の様子

で「一市民一スポーツ」の普及を掲げており、スポーツ活動を通じて健康増進と市民相互の交流を図っていきたくと考えています。また、10月には10地区対抗ソフトバレーボールを開催します。この大会を契機にして、今後は市民のニーズに沿った、市民体育大会の開催に向けて検討していきます。

○ 「黒石米」ムツニシキの状況は。

○ 平成27年5月の田植えから取り組みが始まり、順調に生育しており、9月20日前後の収穫を予定しています。今後は各種イベントでの試食会や食味アンケートを実施して「黒石米」のブランド確立に向けた取り組みを進めていきます。





自民・公明クラブ
村上 啓二 議員
(一括方式)

問 西十和田トンネルについて、今後の対応は。

答 本年度は今後の活動方法等について協議する場を設定するほか、津軽南市町村選出県議会議員の皆様の見解を伺いながら、要望方法を検討していきたいと考えています。さらに、昨年度開催しました西十和田トンネルシンポジウムにおいて盛り上がった住民の機運をさらに高めるためにも、市議会との連携を強化し、津軽一円はもとより、県内市町村や秋田県北の市町村とともに、さまざまな場面で建設の必要性を訴えていきたいと考えています。

問 青森県への重点要望に対して、どのような反応があったのか。

答 県担当者との打合せの席で、国に西十和田トンネル建設を認めてもらうためには、青森県と関係市町村が協力してトンネルの必要性をデータ化して訴えるなどの方法を考えるなど、西十和田トンネル



高橋会
高橋美紀子 議員
(二問一答方式)

建設の機運をさらに高める必要があるとの助言をいただきました。市としまして、関係市町村のほかにも青森県や秋田県と連携して進めていきたいと考えています。

問 就任1年余の今、市長が考える当市の未来図はどのようなものか。

答 先人の築き上げてきた歴史と足元を見つめ直し、黒石の良さを再認識することが必要だと考えます。商店街の活性化については、市民、観光客がゆっくりと散策できることが黒石の良さであり、活性化につながる仕組みを考える必要があると考えます。産業構成については、1次産業を基盤とした2次、3次産業の振興、農業の6次化、バイオマス産業、植物工場、エネルギー産業等に取り組み、市民が元気に笑顔で働ける環境をつくる必要があると考えます。

問 学力向上対策について、今後の取り組みは。

答 これまでの取り組みに加

え、学力調査の結果分析、課題解決に向けた改善策立案、各校との情報共有などの取り組みに努めます。

問 通学路の安全対策についての取り組みは。

答 定期的に黒石市通学路安全推進会議を行っています。降雪時の安全確保にも万全を期していきます。

問 学校給食の実施方式を決定するのはいつになるのか。中学校給食を考える余地はないのか。

答 財政状況を考慮しながら検討し、平成28年10月までに決定します。中学校給食は小学校の完全給食実現後、検討します。



日本共産党
工藤 禎子 議員
(二問一答方式)

問 国民健康保険税は、一世代・一人当たりともに県内10市中2位と高い。平成27年度末で基金残高4億3千万円程と見込んでいる。医療費が増えても一世代当たり1万円の引き下げは可能だ。また、今年度国から交付される低所得者対策財政支援も国民健康保

険税引き下げに活用しては。

答 国民健康保険税収入の減収や医療費の増高など不測の事態は基金で対応するため引き下げの考えはありません。また、国から交付される低所得者対策財政支援は当市に3千万円増収となる見込みですが、国民健康保険税の減少と医療費の増加傾向にあり、すぐに引き下げにはつながらないものと考えています。

問 家庭ごみ袋収入は経費等を引いても3千万円ほど残る。ごみ袋の有料化でごみ排出量

削減は一定程度進んだが、県内で20番目である。ごみ袋が無料の市町村が上位であることから啓蒙を独自に進め、値段は引き下げるべきでは。10円一枚15円は、これまでの値段より比率が高く、また高いごみ袋を販売することになる。もっと安くするべきでは。

答 減量化を継続するためにも、ごみ袋の値下げは考えていません。10円の袋はこれまで同様ごみ処理費用の2割程度で同様の転嫁ということで算定しました。

哀悼とお見舞い

9月18日に発生した黒石市立六郷小学校給食用厨房爆発事故により、臨時給食員1人がお亡くなりになり、児童、臨時給食員、臨時栄養士、害虫駆除作業員の計7人が負傷しました。

尊い命が奪われる結果となり、痛恨の極みであります。

亡くなられた方の御冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。

また、被害にあわれました方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い御回復をお祈り申し上げます。

黒石市議会議長 北山 一 衛



黒石市・宮古市姉妹都市議会議員交流会

10月21・22日、北山一衛議長他14名が、宮古市を訪問しました。山口宮古副市長や前川宮古市議会議長他27名の宮古市議会議員の歓迎を受け、活発な意見交換を行いました。

21日は東日本大震災から4年が経過した現在の田老地区を視察。震災語り部ガイドの方から防潮堤の上で説明を受け、改めて防災意識の必要性を認識しました。高台へ逃げるといふ気持ちが足りなかったことで多くの犠牲者が出たという言葉が印象的でした。その後、田老地区防災集団移転促進事業について視察。平成28年3月末までに整備が終了するという移転先にはすでに住宅が建ち始め、着々と整備事業が進んでいました。今回の交流会を通して改めて、協力し合い、交流を深めていきたいと強く感じました。



第7回「議会報告会」を開催

8月22日の午後6時からスポカルイン黒石で、7回目となる「議会報告会」を開催しました。

報告会では、始めに27年度予算等の報告を行い、続いて市民の皆さんと意見を交換。意見交換では、酒祭りやクラシックカー、こみせまつりなどの土日にかけで行う祭りや、ねぶた、よされなど長期間の祭りがあるが宿泊施設がなく停留ができない。宿泊施設があればよされ横丁や街なかの活性化にもつながると思う、との意見がだされ、その通りだ、経営が成立つかという問題はあるが、高樋市長は意欲的でさまざまなアイデアを持っており、ワンルーム型やアパート型などに着目し観光協会と連携してやりたいと考えているようだということを説明。また、山形地区に民間経営で、飲食物持ち込みで風呂と宿泊を安価に提供している事例があることを紹介しました。

他にもたくさんのご意見を頂きました。これからも、市民の皆さんには、議会、政治に関心を持っていただけるよう努めますので、よろしくお祈りします。

日本酒条例サミットで本市をPR

9月22日、京都市勧業館「みやこめっせ」で「日本酒条例サミットin京都」が開催されました。

このイベントは、日本特有の酒文化を機軸に、和の文化的価値を掘り下げ、各地域の力を引き出して大成を目指すために行われ、全国の乾杯条例を制定している109自治体の中から、35自治体が参加。

本市議会からは、北山議長がステージイベントに出演し、よしもと芸人らと笑いを交えながら本市の地酒などをPRしました。

会場には約3700人が訪れ、試飲ができる酒ブースや、酒に合う料理が並ぶ飲食ブースに長蛇の列ができていました。地元の物産等を紹介する自治体PRブースには、本市も開設。本県出身者や馴染みのある人たちが訪れ、懐かしい思いに浸っていました。



議員全員協議会の概要

11月6日、六郷小学校給食用厨房爆発事故に対する議員全員協議会を議場で開催しました。この件に関する議会への報告、協議は今回で2度目となります。

亡くなられた臨時給職員の方に対する哀悼の意を込めた教育委員長のあいさつの後、教育長や教育部長などからこれまでの経緯と被害に対する補償等について説明がありました。

原因については、警察や消防が調査中であるため、市は、調査に全面的に協力していること、原因が明らかになっていない中での補償問題を弁護士と相談しながらできることをしていくとの説明でした。

議員からは、情報公開の要求や、長期化する原因究明に対する懸念とともに補償問題の取り組みに対しての質問がされ、教育部長から原因にかかる質問には調査中のため現在報告できていることが全てであり、補償に関しても同様であるとの答弁がありました。今後さらに議会としても取り組みを強化していきたいと思います。

●行政視察報告

自民・公明クラブ

村上 隆昭・中田 博文
工藤 俊広・大溝 雅昭
工藤 和行・大久保朝泰
今 大介・村上 啓二
北山 一衛

視察先

兵庫県赤穂市
京都府南丹市
兵庫県神戸市
(H27年10月13～15日)

【「水道事業」、「スポーツ都市宣言」について (赤穂市)】

赤穂市では、日本一安い水道料金を可能にしている工夫について研修しました。また、スポーツ都市宣言については、「健康とスポーツを新機軸としたスポーツ先進都市」を目指し、スポーツ活動の場と機会の充実を推進していくなどの説明を受けました。

【「美山かやぶきの里」について (南丹市)】

南丹市では、年間70万人もの観光客が訪れている美山町地区のかやぶきの里についての取り組みをうかがいました。

【「人と防災未来センター」について (神戸市)】

神戸市では、阪神淡路大震災の教訓を残すために設置された人と防災未来センターで研修を行い、東日本大震災に生かされている教訓など防災に対する取り組みの重要性を改めて実感しました。



常任委員会 活動報告

経済建設常任委員会

経済建設常任委員会（大溝雅昭委員長）は、10月3日に十和田市で開催されたまちおこしのイベントである「B-1グランプリin十和田」の視察を行いました。また、当市から参加した「黒石つゆやきそばHAPPY麺恋ジャー」がどのように黒石をPRするのも併せて視察しました。

B-1グランプリとは単に食物を競うコンテストではなく、ご当地グルメでまちおこしをするイベントであり、30万人が来場するイベントになっています。



B-1 グランプリin十和田を視察

十和田市では地元の中学生在が、ゴミ拾いや案内係り、並びの代行などのボランティアに大勢参加している姿を見て、ホスピタリティを大いに感じました。

黒石つゆやきそばHAPPY麺恋ジャーは、県内からグランプリを取っていない団体としては今回唯一の参加となり、高校生や音楽団体の協力などで7位に入賞しました。食で地域をPRすることは大きな効果があり、黒石にはつゆやきそばという名物があるので、おおいに利用するべきだと考えます。

民生福祉常任委員会

民生福祉常任委員会（大久保朝泰委員長）は、10月9日に「山郷館サポートセンターくろいし」の視察を行いました。

山郷館サポートセンターくろいしは、市から事業委託された地域活動支援センター事業「II型」を実施し、地域において雇用・就労が困難な障がい者に対して、機能訓練、社会適応訓練をしています。また、相談支援専門員が日常生活の悩み、福祉サービスなどの相談に応じ専門機関の紹



山郷館サポートセンターくろいしを視察

介やさまざまな情報提供を行っています。

現状の問題などを質問したところ、「スタッフ育成の難しさ」、「サービスを利用したくても障がい者を受け入れてくれる事業所が少ない」、「重心専門の施設がほとんどない」、「老人に対するデイサービスはあるが、障がい者のデイサービスは少ない」など障がい者を取り巻く環境の厳しさを語ってくれました。今後ともさまざまな施設の状況を視察していきます。

経済建設常任委員会

経済建設常任委員会（大溝雅昭委員長）は、10月29日に平成26年度「地区要望・提言」の現地視察を行いました。

市から回答が出ている26年度の地区要望の確認と把握の

ため、常任委員会で検討し選出した市内各地区12箇所を視察しました。

視察終了後、委員からは「地区要望各担当課との細かな打ち合わせをし、委員会内でも視察と状況確認の優先順位の再度見直しが必要なのではないか」、「地区要望の早期の対応へ向け議会、行政、地域団体との連携の強化が必要ではないか」、「27年度分についても、市の出した回答に沿って再度視察する必要がある」などの意見が出されました。

すでに27年度の新規地区要望箇所の市担当課による現地調査が始まっています。今後委員会では、地区要望に關して市の財政状況等を踏まえ、一つでも多くの要望の早期対応、解決に向け活動していくことを確認しました。



市内12箇所を視察

編集後記

「くろいし市議会だより」も第11号の発行となりました。編集委員会でも毎回いろいろな意見を出し合い、多くの市民の皆様にご覧いただきたく取り組んでおります。

これからも議会の活動が市民の皆様によりわかりやすくするように、開かれた議会運営を目指してまいります。今後とも皆様の声を聞きながら、充実した議会だより発行に努めてまいりますので、ご意見、ご要望等ありましたらお聞かせください。今後ともよろしくお願いたします。

今 大介

議会だより 編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 工藤 俊広 |
| 副委員長 | 大久保朝泰 |
| 委員 | 工藤 和子 |
| 委員 | 高橋美紀子 |
| 委員 | 今 大介 |
| 委員 | 三上 廣大 |

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-10396
黒石市大字市ノ町11番地1号
電話 0172-5212129
FAX 0172-5317410

